

優良種苗確保事業

(執行委任：農林水産部森林・林業経営課)

企画調整課 藤原 貢

1. 採種源整備事業

二本木地内の採種園・採穂園を対象に、下刈り 3.03 ha(延べ面積)及び更新準備のためスギ採種木 210 本の伐採を実施した。

森林環境研究課 奥田清貴

2. 採種園・採穂園改良事業

(1) 原種保存

採種木、採穂木の原種保存のため、挿し木苗の養苗を行った。

(2) 少花粉スギ採種園の管理、種子生産

平成 25 年 2～3 月に少花粉スギ間で人工交配して着果させ、カメムシ被害防除等を実施した。平成 26 年 10 月に球果を採取して、得た種子 600 g と平成 24 年度採取種子(冷凍保存)130 g との混合種子 730 g (発芽率：平均 25.3%) を三重県林業種苗協同組合連合会に売り払った。

次年度の種子採取のため、7 月に少花粉採種木 78 本に対してジベレリン 100 ppm 溶液を 2 回散布して着花結実処理を実施し、2～3 月に少花粉スギ間で人工交配した。

(3) 特定母樹及びエリートツリーによるミニチュア採種園の造成

林木育種センターで開発されたスギ特定母樹、スギ・ヒノキのエリートツリー(第 2 世代精英樹)の配布を受け、構内にスギ特定母樹採種園(120 m²)を新たに造成するとともに、スギエリートツリー採種園(141 m²)、ヒノキエリートツリー採種園(220 m²)を追加造成した。

3. 特定母樹等増殖にかかる施設の整備

特定母樹等の増殖を行うため、挿し木苗養成用パイプハウス 1 棟(全開閉式遮光ネット張り、間口 6 m×奥行き 20 m)及び 目的外花粉除去のためのパイプハウス 2 棟(フィルム張り 2 段開閉式、間口 7.2 m×奥行き 30 m)ほか関連施設を整備した。

4. マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツの売り払い

川口採種園に設定してあるマツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ採種園(0.5 ha)から、平成 26 年度に採取した種子 250 g(発芽率 60.3%)を三重県林業種苗協同組合連合会に売り払った。